



サポートやお ボランティアだより

第68号
2016年3月20日

★発行 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会、八尾市ボランティア連絡会
★住所 〒581-0018 八尾市青山町4-4-18 在宅福祉サービスネットワークセンター内



精神保健福祉ボランティア講座



精神保健福祉ボランティア講座は全7日間の講習。

1日目は、開講式の後、オリエンテーションで「当事者からのメッセージ」という形で、作業所やデイケアに通われている利用者さんの、精神障がいを抱えることになった経緯や、現在どのように生活を送っているのかを、スタッフさんとともに具体的に話してくださいました。私自身、お恥ずかしいことですが、障がい福祉サービス事業所があることは知っていましたが、精神障がい者の就労継続支援型の事業所があることを、これまで全く知りませんでした。話を聞いて、当事者のみなさんは、前向きに事業所などで活動されていることを知りました。

2日目は、精神障がいについての講義でした。精神障がいの発症率は、決して低くはなく、誰もがかかり得る、珍しくはない病気であることや、統合失調症の症例などを学びました。こころの病は特別な病気ではないんだなあと、他人ごとではないと考えさせられました。病気の症状を理解し、当事者の生活を応援し、障がいのある人も、共に暮らせるようになることが、地域社会の目標であるということも学びました。



3日目は、ボランティアさんの体験談がありました。「最初は、何かのお役に立てればという思いで始めたボ

ランティアでしたが、今は自分のために活動をしている」という話が、特に印象に残っています。そして、残りの時間では、ボランティア体験の実習受入れ先のスタッフさんと、施設の内容や、どのような方が通われているのか、また、ボランティアとして、どのようなことをすれば良いのか、具体的に何をしたいのか？などを話合いました。



次の3日間は、八尾市内の施設で実習でした。私がボランティア体験を行った施設はデイケアで、主に利用者さんと積極的に話をして、コミュニケーションを図るという体験でした。精神障がいを持つ方と話をするのは初めてでしたので、不安や、戸惑いもありながら、いざ話かけてみると、気さくに話ができて、雑談で盛り上がりました。実習が進むにつれ、構えなくても、自然体で話をしていけば良いんだなあと実感しました。

講座最終日は、ボランティア体験のふり返り、終了式でした。各施設でのボランティア体験で感じたことを、グループごとに、意見交換を行いました。実際に体験をすることで、自分の「気づき」を感じ、体験をする前と後では、精神障がいについて、かなり意識が変わりました。

今回のボランティア講座で学んだことを生かして、今後の活動に向けてつなげて行きたいと思いました。

～ 災害ボランティアコーディネーター研修に参加して ～



昨年に続き、今回で3回目の研修会となりました。

午前には、大阪府の危機管理室から、大阪府地震防災アクションプランについての話があり、続いて大阪府社会福祉協議会から、災害ボランティアセンターの機能と役割についての講義がありました。午後は、自身も災害ボランティアとしても、コーディネーターとしても活躍されている“共働プラットフォーム”代表の杉浦氏の「災害ボランティアコーディネーターの役割について」の講義と昨年大きな災害があった丹波市社会福祉協議会の松浦氏の「被災者ニーズへの向き合い方」についての講義がありました。両氏とも実際に体験された話で、

現実問題として私たちも考える事ができました。

今回のコーディネーター研修会のプログラムのなかで、グループワーク(被災者ニーズへの向き合い方)がありました。

※ 災害発生後、時間の推移におけるボランティアニーズについて

- 緊急期(発生日～3日)命を守る、救う活動
- 復旧期(4日～3週間)
- 復興期(1カ月～3カ月)

以上の期間で、どんなボランティアニーズがあるか全員で書き出す作業を行い、皆で共有すると、災害が発生すれば大変多くのニーズがある事を知り、認識できたことが大変に良い勉強になったと思います。

あつてはならない災害がいつ起こるかわかりませんが、当面は我が家の緊急期の準備程度はすることにしました。不幸にして災害が発生した時は、今までの講習、研修会で学んだ知識を少しでも発揮し、活躍することができれば良いかな? そのように思っています。

危機管理・防災講演会 —— “地域における自助・共助の大切さ”

1月27日、八尾市文化会館小ホールにおいて開催されました。講師は、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長・研究調査本部長であり、兵庫大学名誉教授の室崎益輝氏です。

今までの災害の経験を、次の大災害への備えに活かすためには「想定外」という口実を使ってはならない。

◎ 四連動地震など巨大災害に対しては、防災ではなく減災を考えよう。

1. 大きな自然に対して、小さな人間という認識
2. 対策の足し算による、被害の引き算による追求が大切である。千年に1度の災害に備えて、「巨大な堤防の建設」より「コミュニティをしっかりと」ことが求められる。

◎ 震災対策としては、自主防災が大切

1. 予防 : 感震ブレーカーの設置や耐震補強
2. 震災後 : 弁当より地域限定のクーポン券を配り、地域の復興を図る。これにより経済の復興が図られる。

◎ 防災・減災に対しては、「みんなで支え合うシステム作り」が大切

1. 「励まし合う」「【逃げよう】という隣の人の声掛け」

地域には、色々な技能を持った人がいる。この能力を引き出し、これをシステム化する。すなわち地域のみんに、役割を作る。すると、来たくような訓練が可能となる。

2. 災害の際に大切だが弱いと言われている共助は、市民社会全体で、助け合うことである。

と先生は強調されました。

これは、ボランティアの心と通じ合うのではないのでしょうか。



広がれボランティアの輪 ④9

(Vお試し講座 健寿会)



認知症予防をしよう!!

2月15日に社会福社会館で、健寿会のお試し講座「認知症予防の脳トレと音楽レク」が開催されました。受講希望者が多く定員を超過20名が参加されました。



まず、音楽に合わせて手指を動かし、歌を歌い、リラックスできた後に自己紹介です。なごやかな雰囲気になったところで、ペットボトルのふた、紙、竹ひごを使ってのおもちゃ作りをしました。親切に教えてもらったおもちゃは、回すときれいに動き、皆びっくりされていました。

続いて「健康十巧」というツボの刺激法を教えてください、これは少しただけで手がホカホカしてきました。

五十音のカードを使った文字合わせゲームでは2文字の単語作り。手作りおじゃみで健康体操をして、最後に脳トレ(かなひろいテスト)をしました。どれも簡単そうで難しいし、頭も身体も使う。皆さんとても楽しそうに受講されていました。

会員の方の親切な指導のもと、身近な物を使っての認知症予防が体験できて、とても有意義な講座でした。



福祉施設訪問 ⑤0

四季の森 クリエイトしき



地域密着型を目指して



手狭になった福栄町から移転してきたのが、昨年8月のこと。自然に囲まれた高台にジェラート・カフェを併設したおしゃれな建物。もちろんバリアフリー。

こちらは、半径500m以内に『クリエイトしき』はじめ農作業の『しきファーム』、グループホームなどの運営施設が集約されています。職員は「地域密着型の支援をめざしています。利用者さんは自宅やグループホームから通っています。新しい施設で、明るくなりました。気持ちの切替えができ、今まで出来なかったことができるようになりました。環境が変わることで日々、成長しているようです。」と、とてもうれしそうに説明してくださいました。農耕班、紙漉き班、企業受託班、レンタルベビー用品のメンテナンス班、ジェラート班に分かれ、一人ひとりに合ったペースで作業に携わっておられます。

吹き抜けが、気持ちのいいカフェでは、ジェラート班が、管理栄養士の監修のもと、素材にもこだわった『里山の手作りジェラート』を提供しています。ここは十三峠に抜

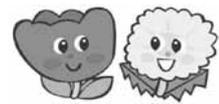
ける自転車ロードにあたるため、自転車乗りの人が立ち寄るそうです。「ジェラートだけでなく空気入れや飲料水、軽食も用意するようになりました。」しおんじ山から歩いて5分ほど、散策してみる価値あり!!



名称	Gelato Cafe Monte Rose
所在地	八尾市大竹7丁目87番地
TEL	072-970-5151



お知らせ



ボランティア保険の更新はお済みですか？

社協ボランティアセンターの登録ボランティアさんが加入している「ボランティア活動保険」は更新のご連絡がなければ3月31日に補償期間が終了します。ご注意ください。

手続きはボランティアセンターで行っています。

また、活動中にケガや事故が発生したときは、すぐにボランティアセンターまでご連絡ください。



プラットフォームに新しくグループが登録されました。

- Musica、
 - ポケットハウス
- の2グループです。
よろしくお祈いします。



ボランティア活動展開催



八尾市ボランティア連絡会では、ボランティア活動の魅力や楽しさを見ていただくこと、ボランティア活動展を開催します。

パネル展示のほか体験コーナーも実施します。これから、ボランティアを始めようという方、ちょっと興味のある方など、ぜひ、お越しください。

日時 3月27日(日)～3月29日(火)

9時から16時30分

(3/27は13時から、
29日は15時30分まで)

場所 八尾市立社会福祉会館 2階

参加費 無料



社会福祉法人
八尾市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒581-0018
大阪府八尾市青山町4-4-18
八尾市在宅福祉サービス
ネットワークセンター内
(サポートやお)

電話:072-925-1045
FAX:072-925-1161
syakyoyao@mth.biglobe.ne.jp
メールマガジン
「やおボラNEWS携帯版」
<http://m.mag2.jp/M0073749>

体験コーナー

3/27 (日)	13:30 ～ 15:00	八尾市ボランティア教育振興会 折り紙で作るコースター
3/28 (月)	10:00 ～ 11:30	YK ホットフォーラム バルーンやお バルーンアート
	13:30 ～ 15:00	S A八尾・柏原 折り紙(ペンギン、かえる) いちご会 ストローで作る飛行機
3/29 (火)	10:00 ～ 11:30	花水木の会 やさしい手
	13:30 ～ 15:00	音訳グループコスモス 音訳ミニ体験
	15:00	いきいき歌体操

◇社会福祉会館・サポートやおへの道順◇



編集委員

大下 地恵子、尾崎 光二、二葉 登代子、森原 榮子、館 邦夫、藤後 聡子、池田松代、高橋弘子、谷 敏克、富井元子、森昌子